学校番号	T4001

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	（学）異文化研究	単位数	２単位	年次	１～４
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

体験学習を通じて、韓国朝鮮の文化を理論と実践の両面から理解します。また、私たちの身近な外国にルーツを持つ人々のことについて学習し、異文化を理解して交流することについて考えます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
韓国朝鮮の民族楽器であるサムルノリの打法やリズムを修得し、基礎的な演奏をすることができる。日本に住む様々な外国人について、正しい知識を持つことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
自分の身の回りにある異文化について、偏見や差別意識を持たずに受容し、間違った考え方があれば指摘することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
在日外国人が増えている日本社会が真の多民族共生社会になっていくために、自分ができることやすべきことを意識しながら行動することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・韓国朝鮮の民族音楽の打楽器について、名前や楽器の音の特徴を理解する。 ・在日外国人の生活や法的地位について理解する。	・韓国朝鮮の民族音楽の打楽器の楽譜を読み、演奏する。 ・在日外国人が日本で生活するにあたってどのような問題があるかを考える。	・異文化を積極的に受け入れて楽しむ。 ・在日外国人との違いを認め合い、「他民族共生」の実現に向けて努力する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
10月～11月	サムルノリ	韓国朝鮮の民族音楽であるサムルノリに使う打楽器の名前、音の特徴、楽譜、演奏実技	a:サムルノリの楽器について、名前や音の特徴を理解している。 b:サムルノリの楽譜を見て演奏ができる。 c:韓国朝鮮の民族音楽について積極的に理解しようとしている。	小テスト	実技テスト	振り返りプリント
12月～1月	在日外国人	日本に住んでいる外国人の法的地位、生活の様子、ルーツのある国の文化	a:在日外国人の法的地位やそのルーツがある国の文化について理解している。 b:在日外国人との違いを受け入れて「他民族共生」を実現するにあたっての課題を考える。 c:在日外国人との「他民族共生」について、自分の考えを発表する。	小テスト 定期考査	授業内発表	授業内発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度